

エリアC

呉三津田高校
西条農業高校
県立広島高校

谷 凌介

中尾 優吾

井上 つぐみ

目次

- ・**エリアC**の紹介
- ・ミッション1 「大切な人は誰？」
- ・ミッション2 「現状とありたい姿は？」
- ・ミッション3 「課題は何？」
- ・ミッション4 「企画を考えよう！」
- ・プロジェクトのプレゼン 「ワークショップを開こう！」
- ・ミッション5 「企画案をリファインする！」
- ・ミッション6 「英語を話そう！」

エリアCの紹介

テーマ:「いつでも帰ってこれる
故郷を未来のために」

- ・安心して帰ってきたくなる地域を作る
- ・故郷はHOME“心のよりどころ”

モットー: もっとフランクに, 主体的に,
自分から! アイテム活用!

ミッション1-①

『「幸せにしたい」と考える
「大切な人」を見つける』

「...したい。だけど...」な人

- 例)・伝統を守ろうとしている人
- ・みんなが応援したくなるような人
 - ・地方創生に向けて活動をしている人。

ミッション1-②

・被爆者の方

「被爆証言をしたい。だけど若者が興味を持ってくれない。」

平和について考えてみると

聞き手の問題,つなぎ手の問題...

テーマは「平和」に決定！

ミッション2

『現状とありたい姿を明確に』

現状：何かしたいが、できない人がいる。

ありたい姿：そのような人のための
機会がある！

そんな人のためになりたい…。

機会づくりが必要！

ミッション3

『課題を設定する』

若者が主体的に行動できていない。

- ・若者特有の活力を生かしたい
- ・若者の活動の輪を広げたい

私達が率先して活動しよう！

ミッション4

『企画を考えてみよう』

～平和公園でのフィールドワークを経て～

参加型のワークショップをしよう！

<大切にしたいこと>

- ・とっかかりやすいようにしよう！
- ・いろいろな人に関心を持ってほしい！

楽しいワークショップを企画しよう！

エリアCプレゼント
参加型ワークショップ

『戦時中へタイムスリップ
時代は変わっていく』

～新たな一歩を踏み出す手助けを～

平和への熱い思い

- 平和はすべてをつなげていくベース
→ 平和があってこそ、ありたい姿の実現
- 広島の特有性を大切に！
- 平和を通して、
主体的に行動できる人を目指そう！
- 高校生ならではの魅力を生かそう！
- 今まで経験してきたことを発揮したい！
例) ジュニアライター, 高校生平和大使

企画案作成シート①

活動 Action Plan

- ・地域性に富んだ主体的な活動を行う
 - ・体験型で簡単に気軽に学べるようなワークショップを開く
 - ・SNSでも呼びかける
 - ・各学校で試してみても、効果的なものを学校を超えたエリアで定期的実践する
- ↓
- 参加者の感想や思いを集め、レポートを作成する

課題設定

若者が主体的に活動できていない

目標

- ・若者の主体的な学びが持続的に続く
- ・会議の手法や私達が学んだ他社との協働力なども中高校生に継承できている
- ・ワークショップへの参加人数が多い
- ・主催者を含め、みんなが楽しんでいる
- ・平和問題を自分事化できている

問題

問題

問題

問題

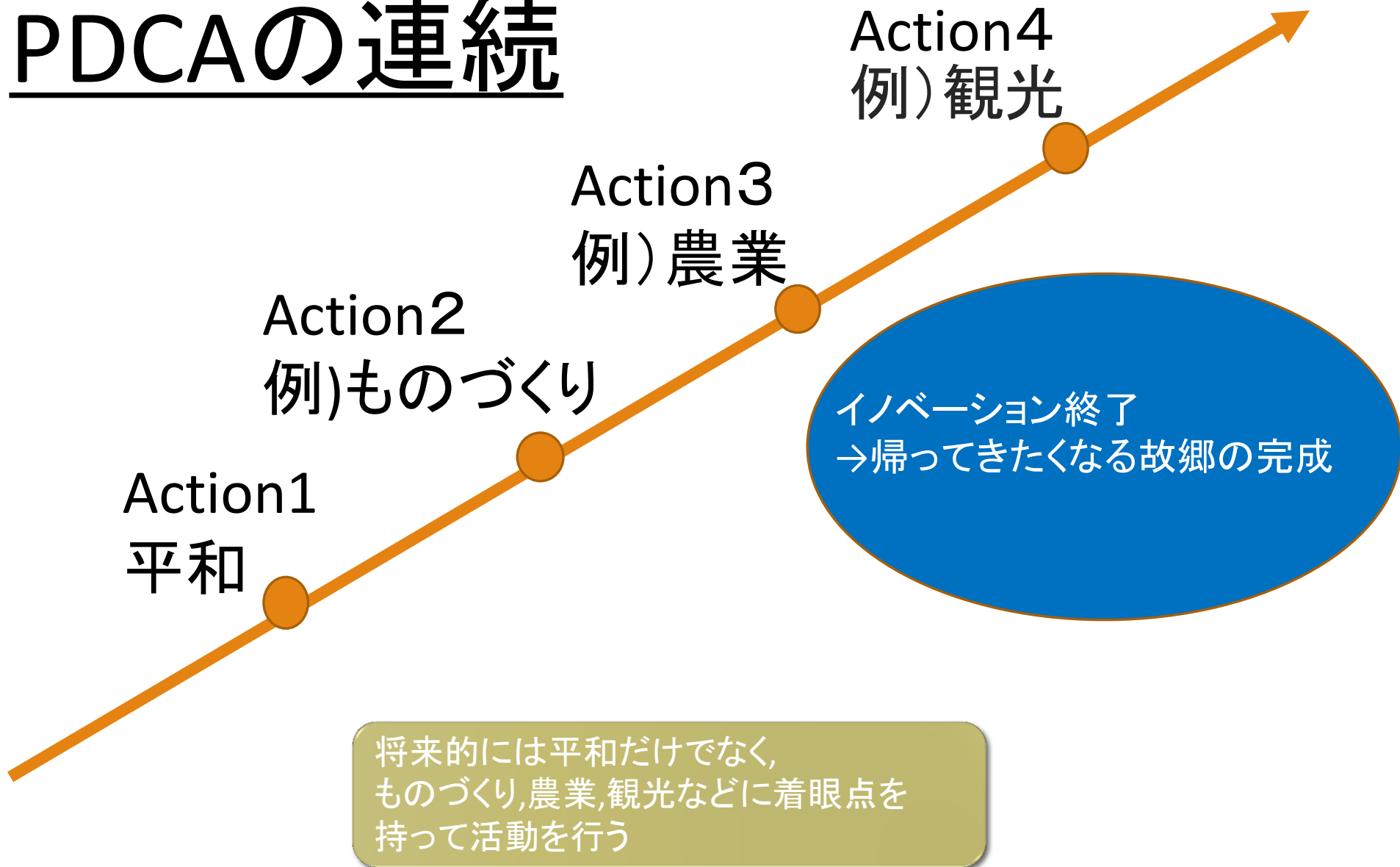
背景(現状)

何かしたいという気持ちはあるが、その気持ちは満たされていない人がいる

大切な人

「～したい、だけど・・・」な人 → 新たな一歩を踏み出したい、だけど機会がない人

PDCAの連続



企画案作成シート②

分析
広告,宣伝,情報収集(インタビュー,文献調査),材料の調達などのためにお金が必要

活動
～戦時中へタイムスリップ
時代は変わっていく～
①今原爆が起きたらどうするか
などを疑似体験
②食材を用意し,戦時中のご飯
を想像で絵に描いてもらい,
実際に戦時中に食べていた
食事を見せて想像との違いを
体験してもらう
③みんなで歌を歌い,つながる
④戦時中に世に希望を与えた
人のチラシを作って配る

課題設定

一步を踏み出す
機会がない

目標

- ・広島を心のよりどころとなる「HOME」にする
- ・ワークショップの参加者が次回の主催者となる
- ・平和意識が芽生える
- ・戦時中の生きていくことの難しさなどが分かる
- ・楽しく時代を追って今と過去を比べて,
平和の大切さを実感する
- ・広島で参加型の平和体験学習イベントとして
話題になる

問題

問題

問題

問題

背景(現状)

被爆者の9割が実相の風化を懸念
→今すぐアクションを起こさなければならない

大切な人



「平和について知りたい」と新たな一步を探す人

1, 大切な人

「・・・したい, だけど・・・。」な人
= 平和について興味があって, 学んでみたい,
 だけど機会がない人。

例) 平和について知りたいと新たな一歩を探す人

2, 背景(現状)

- ・被爆者の9割が実相の風化を懸念
- ・多くの被爆者が平和教育の活発化が急務であると感じている
 - 今すぐアクションを起こさなければならない
- ・若者に平和学習をする機会が少ない
 - 資料館の展示を見て恐怖を感じただけで知ったつもりになっている

3, 目標

- ・広島を心のよりどころとなる「HOME」にする
- ・ワークショップの参加者が次回の主催者となる
- ・平和意識が芽生える
- ・戦時中の生きていくことの難しさなどが分かる
- ・楽しく時代を追って今と過去を比べて、
平和の大切さを実感する
- ・広島で参加型の平和体験学習イベントとして
話題になる

4, 課題設定

一歩を踏み出す機会がない

例)・中学生,高校生は改めて平和について考える
時間がない

・気軽に話せる環境がない

→私たちがワークショップを
開いて機会をつくろう!

5, 活動

～戦時中へタイムスリップ時代は変わっていく～

- ①今原爆が起きたらどうするかななどを疑似体験
- ②食材を用意し,戦時中のご飯を想像で絵に描いてもらい,実際に戦時中に食べていた 食事を見せて想像との違いを体験してもらう
- ③みんなで歌を歌い,つながる
- ④戦時中に世に希望を与えた人のチラシを作って配る

ミッション5

『企画案・活動計画案を

リファインする』

もっと誰もが参加したいと思えるよう
な内容にしたい！

これからも改善が必要！

ミッション6

『英語でコミュニケーション をする練習をする』

- ・私達が広島で学んだことをハワイで共有したい！
- ・そして、広島で還元する！
- ・英語で議論したり、海外に向けて視野を広げる必要がある。

ご清聴ありがとうございました。